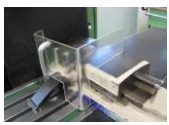



第17回若年者ものづくり競技大会「フライス盤」職種 Q&A

「【参考】過去大会のQ&A」の回答一部修正について

No	質問	回答
9	<p>図の様なアクリルの切屑除去を使用して加工しても良いでしょうか。ドリル加工、エンドミル荒加工のみで使用します。特にドリル加工では、切り屑が飛散しやすいので安全のため使用をします。 (参考1)</p> 	<p>(修正前) 持参工具にないため使用不可です。 → (変更) 切りくず飛散防止カバーについて 選手の安全性の観点から、本大会より切りくずの飛散防止を目的としたもの限りその使用を認めます。ただし、使用される場合には下記の点に注意してください。 1. 参考として左図参考1または下図参考2に示すように飛散防止カバーはテーブル上に置き、手に持つことが出来るタイプもしくは荒神ぼうきの替わりとして、手に持って使用するタイプとしてください。 ※ 作業中の落下防止等の観点から、主軸頭等に取付けるタイプのカバーの使用は認めません。 2. 切りくず飛散防止カバーを使用する場合は、事前もしくは当日に競技委員の確認を得てください。 (参考2)</p> 

第17回若年者ものづくり競技大会「フライス盤」職種 Q&A

No	質問	回答
1	<p>競技用工作機械の外観写真を示してください。</p>	<p>競技用工作機械の外観は下図の通りです。なお、競技用の工作機械には、リニアスケールが取り付けられておりますが、競技中の使用は不可です。</p> 
2	<p>フライスの持参工具で、デプスマイクロの数量が「1」となっているが、どちらか一方しか使えないと言う解釈でよいでしょうか。 または、ボディは1つで、中のロットを差し替えて使用しても良いか？この様な解釈であれば、0点調整でブロックゲージにて確認させて頂きたいです。ご回答をお願いします。</p>	<p>使用工具一覧表の測定具のデプスマイクロメータについて、数量「1」を「各1」に修正いたします。したがって、競技中には0-25mm、25-50mmをそれぞれ使用可能です。</p>
3	<p>競技課題2ページ<競技について> (8) に、テーブル面保護板を使用することとありますが、写真のような、テーブル面に接触する面を銅材にした締め具を使用してよいでしょうか？テーブル面保護という目的は、満たしています。</p> 	<p>使用を認めます。</p>
4	<p>テーパーホルダにドリルチャックを挿入して使用する場合、ドリルチャックとミーリングチャックのどちらでカウントされますでしょうか。写真を添付しておりますので、ご査収ください。</p> 	<p>テーパーホルダ+ドリルチャックは、ドリルチャック1本としてカウントいたします。その他に、大径ドリル(φ13を超える)を使用される場合、上記のテーパーホルダとは別にミーリングチャックの1本としてカウントいたします。したがって補足として、競技中のドリル工具はテーパーホルダ(ミーリングチャックに含める)1本、ドリルチャック1本の計2本の持参工具で使用することが可能です。</p>